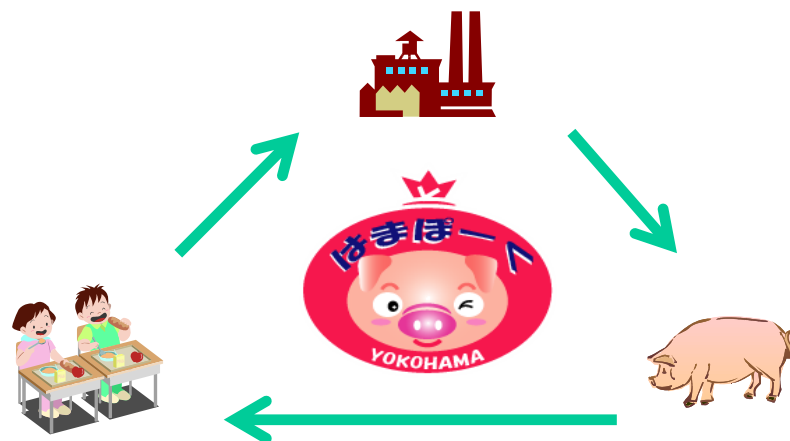


「時代のエース はまぽーく」 —食品循環・食育・地産地消—



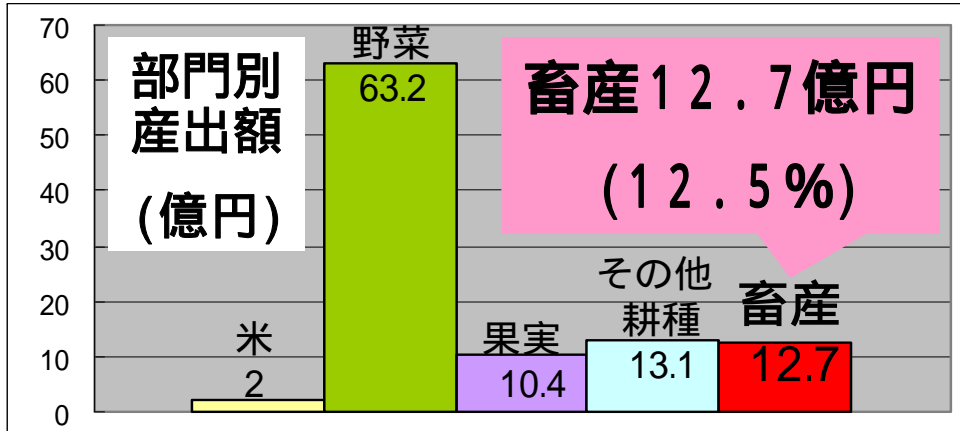
横浜農協食品循環型はまぽーく
出荷グループ 会長 鈴木孝利



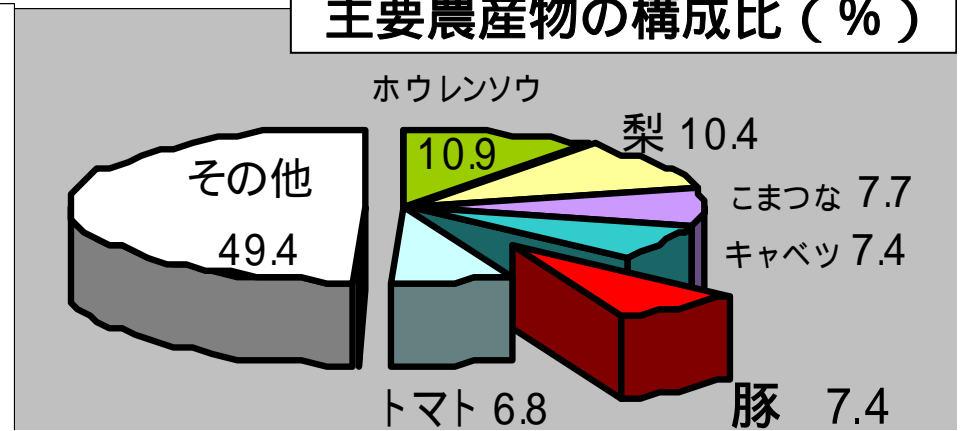
地域の概要 (横浜市の農業)

農業産出額 101億円 (県内第1位)

「生産農業所得統計」



主要農産物の構成比 (%)



家畜飼養頭羽数

「横浜市環境創造局調べ」

年次	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	頭数	戸数	羽数
昭和40年	504	5,101	446	481	1580	24,517	2,961	1,636,000
昭和50年	151	2,869	43	498	217	32,663	197	498,360
昭和60年	90	2,209	48	809	99	28,459	77	303,917
平成10年	33	1,007	33	730	19	15,496	29	73,320
平成15年	22	717	23	564	16	12,109	22	40,035
平成18年	22	628	17	600	13	13,000	7	29,000

(注) 酪農と肥育経営には重複があり



地域の概要 (都市型養豚として生き残り)

横浜市: 人口 363万人 政令指定都市



★ はまぽーく出荷グループ (11農場)



養豚場に隣接する住宅地



公共下水道の利用



「はまぼく」の誕生

平成 11年度	食品循環資源飼料化研究会の発足 横浜市の、ごみ減量・リサイクル事業として検討が 始まる(調査・研究の実施)
13年度	モデル実験として3農家での飼育試験を実施
14年度	モデル事業を開始し、5農家での飼育試験を実施
15年度	8農家での飼育試験を実施
16年度	横浜市の事業が終了し、以降は関係者主体となった 事業として実施(11農家が参加) 横浜農協食品循環型はまぼく出荷グループを設立 市内で「はまぼく」の販売を開始
17年度	ホームページの開設、「はまぼく通信」の発行 各種イベントへの参加、小学校・消費者との交流会 実施等により普及・PR活動を展開



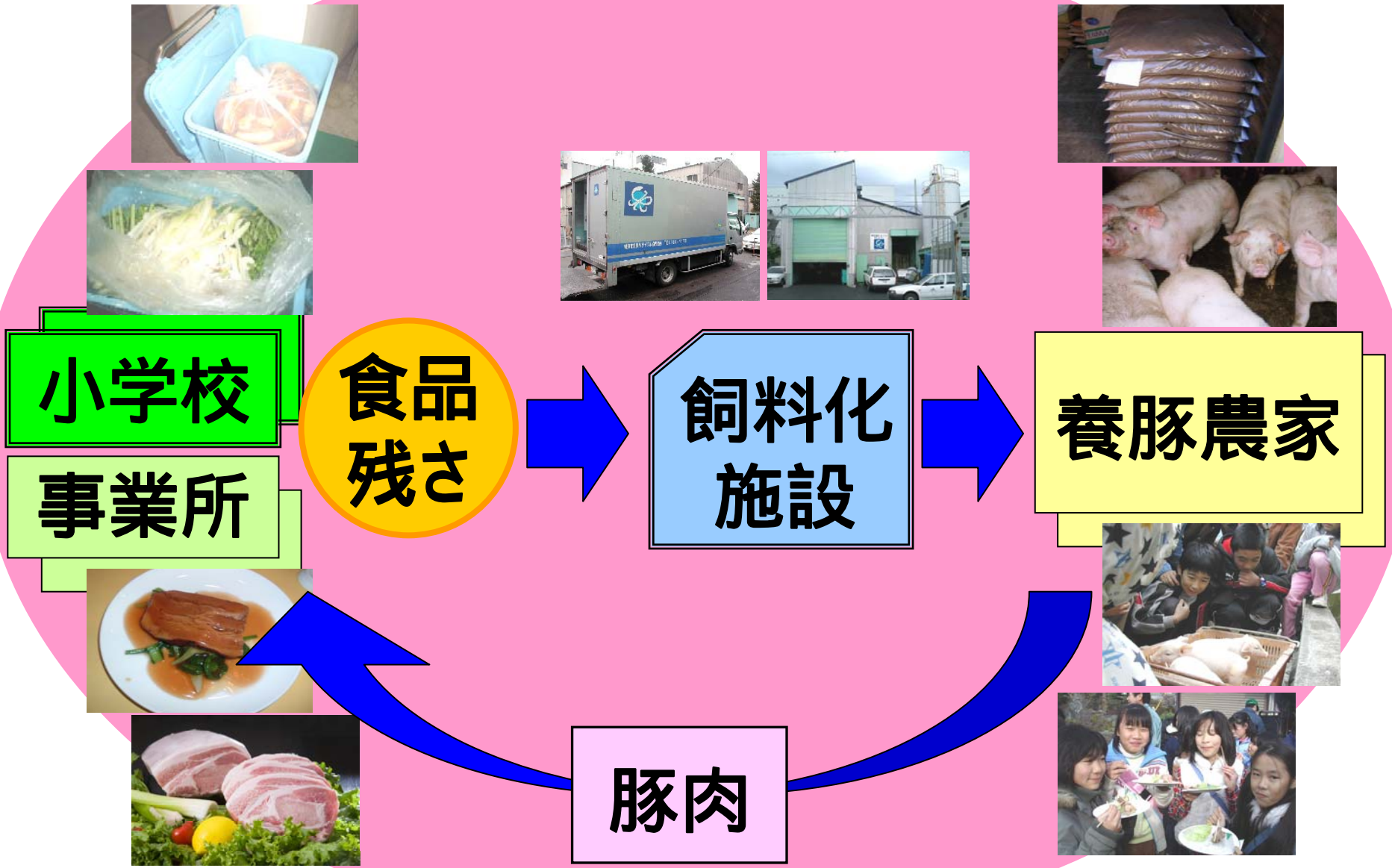
「はまぽーく」の定義

食品循環資源（学校給食・事業系食品等）から出来た飼料と配合飼料（小麦・トウモロコシ等）を混合給与し、横浜市内の生産者が育てた健康な豚で、日本食肉格付協会の評価を得た肉質良好な豚肉。





養豚を核とした食品リサイクル



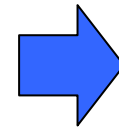


食品循環資源の飼料化

学校・事業所



飼料化施設



養豚農家



専用コンテナで収集



飼料化



トランスバック



保冷車で運搬



袋物



出荷グループ農場(D養豚場)

農場規模

母豚360頭 一貫経営



食品循環飼料を利用したコスト差について

「平成19年10月時点」

肥育前期(30kg~60kg)に必要なとする年間飼料費

(円)

全量を一般配合飼料給与とした場合

19,995,000

食品循環飼料を20%配合利用した場合

17,670,000

コスト差

2,325,000



グループの飼養頭数

平成18年

農家名	種雄豚	種雌豚	肉豚	農協出荷頭数
A	8	155	1,149	1,770
B	2	19	239	200
C	3	25	161	300
D	22	360	3,260	5,260
E	5	60	520	780
F	4	49	362	420
G	4	63	537	805
H	5	56	445	610
I	20	350	3,100	3,680
J	8	100	1,000	800
K	-	-	季節的に子豚を導入	
計	81	1,237	10,773	14,625

農協出荷の約60%を「はまぼく」として選抜出荷



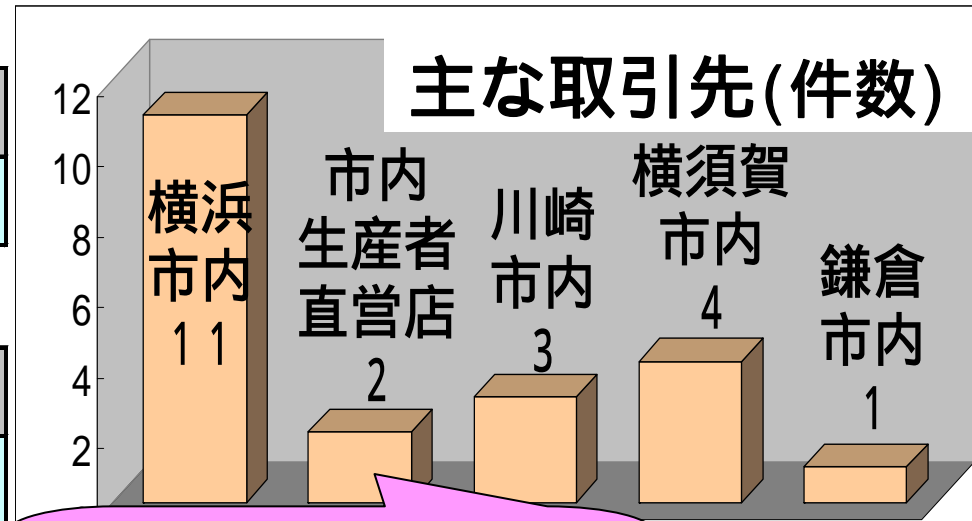
グループの出荷頭数・販売額・上物率

出荷頭数 (頭)

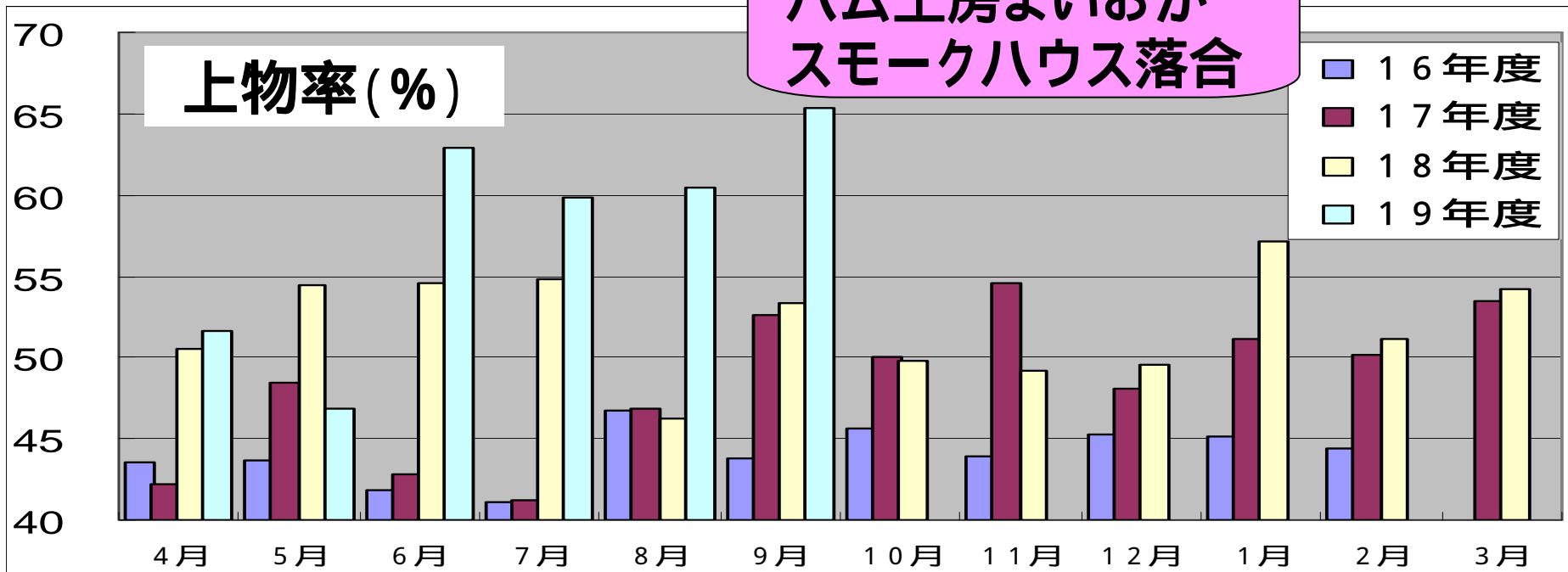
16年度	17年度	18年度
7,622	7,629	6,440

販売額 (千円)

16年度	17年度	18年度
258,361	260,697	221,364



ハム工房まいおか
スモークハウス落合





普及・PR活動(地域の小学校との交流)



小学校児童による養豚場見学



はま菜ちゃん料理コンクール



取り組みの成果と今後の目標

輸入自由化対策への具体的な取り組み事例
として食品リサイクルの推進

循環型社会への積極的な参画

生産量の拡大（農場ごとの選抜・品質の向上）

持続的畜産経営の展開（後継者の確保）

地産・地消の推進（生産者の顔が見える経営）

異業種交流の展開（学校給食への定時供給）

都市型畜産のアピール

今後とも「はまぽーく」を
よろしくお願ひします！

